

留萌市を守る心強い味方たち

留萌警察署少年補導員連絡協議会

留萌警察署少年補導員連絡協議会では、祭典や海水浴場での、補導員によるパトロール、街頭啓発などを行っています。

6月に、巡回活動などの際に着用するオリジナルの制服を導入しました。指導員が専用の制服を着用するのは道内初です。中には太文字で「留萌警察署少年補導員」と書かれています。

制服姿の補導員に、子どもたちから「警察官と見間違えられた」などの感想も聞かれ、「見せる指導」として効果を発揮しています。

今後、パトロールの際の少年に対する声かけ活動や少年補導員活動を積極的に取り組み、少年犯罪の抑止を図っていきます。



これが新しい制服です

ガソリンスタンドは110番連絡所

留萌地方のガソリンスタンドは緊急避難連絡所です。こんな時には、近くのガソリンスタンドに避難することが出来ます。

- 知らない人に誘われた。
- 交通事故に遭った。
- 暴力に遭った。
- ひったくりに遭った。
- ストーカー行為等を受けた。
- 急に体調が悪くなった。

被害に遭われた人をスタンド内の安全な場所で保護し、速やかに警察に連絡します。被害に遭っている人を見た時、通行中に急に体調が悪くなった時も、すぐにガソリンスタンドへ駆け込んでください。全スタンドに普通救命講習修了者がいます。



留萌地方石油業協同組合
☎ 42・7315

留萌市防犯協会

犯罪のない明るい街をつくるため、市民の防犯意識の高揚と自主的防犯活動を推進するとともに、関係機関と協力して犯罪の防止に努めています。現在会員210名と地域安全活動推進

委員90名で活動しています。

主な活動としては、侵入盗・乗物盗等の犯罪防止パトロール、海水浴場夜間パトロール、交番・駐在所との交流会の実施、防犯関係者対象の地域安全活動講習会の開催、金融機関・コンビニ等防犯訓練の実施、各世代別にサッカー、パークゴルフ、ゲートボール等大会を主催し自主防犯意識の普及高揚の呼びかけ、各運動期間中に街頭啓発活動を行っています。



事務局
留萌市市民部生活環境課
☎ 42・1801

留萌地区110番協力SOS

留萌地区110番協力SOSは、ハイヤー協会・コンビニエンスストア・理美容院等が協力機関になっており、事件や事故、犯罪被害に遭いそうな場合に、駆け込み救助を求めれば、警察に通報をしてくれます。



ハイヤー協会で使用しているステッカーです。



留萌市内で、こんなにたくさんの方が防犯の活動をしていたなんて、わたしぜんぜん知らなかったわ。

なんだか、とても安心できた気がするわ。でも、犯罪は、いつ、どこで降りかかってくるのかわからないのよね。自分の身は、まず自分でも守らなくっちゃ。

地域のこわい(信頼される)おじさん・おばさん運動

「地域のこわい(信頼される)おじさん・おばさん」とは、子どもたちに日頃から声かけを行い、悪いことをしたら正しくしかるなど、良き相談相手となつてもらふことを目的としています。

この運動の賛同者の家には「萌ちゃんの家」のステッカーを貼付し、子どもが身に危険を感じたときの「避難場所(子ども110番)」としても位置づけられています。

留萌市青少年健全育成推進協議会では、この運動の輪をさらに広げて



地域のこわい(信頼される)おじさん・おばさん運動

留萌市女性青少年室
☎ 42・0435

いくとともに、実際に目に見える形で活動を実践していくことが必要と考えています。

今年度は、9月(寿町内会)と10月(潮静町内会)に当協議会の研修部会と市教育委員会の連携による初めての地域懇談会を開催します。

この懇談会では、青少年問題に関する情報提供や「大人や地域が子どもたちに何をしてあげられるのか」などをテーマに意見交換を行い、今後の活動に役立てていきたいと思っています。

まずは、地域の住民が青少年問題を身近なものと認識し、地域の中心となつて活動の輪を広げ、将来的には真の市民運動に発展していくことを目指して取り組みたいと思います。

例えば、子どもたちへの「声かけ」などは、誰でも簡単にできて最も大切な活動だと感じています。日頃、挨拶や会話を交わすことで、子供たちとの信頼関係が築かれていきます。

子どもたちには安心感を与え、大人はちょっとした変化に気付いてあげられることもあるかと思えます。

みなさんも今すぐできる「声かけ」活動をぜひ始めてみてください。

そして、みんなで「声かけ」を続けよう。いき、声かけの輪を広げていきましょう。



留萌市青少年健全育成推進協議会
研修部会長 森下 稔さん



ぼくも、留萌を安全で安心なまちにすなくちゃいけないって、思ったよ。

そのためには、まず、自分自身が犯罪を犯さないって、心に誓ったんだ。そして、自分ができることから始めてみようと思ってるんだ。

近所のおじさんに、いつも元気に「こんにちわ」って、あいさつをするよ。

おまわりさんからひとこと



2人とも、今回は防犯についてたくさん勉強したね。留くと萌ちゃんみたいに、一人ひとりが防犯についてよく考えて心がけていくことが大切なんだよ。

犯罪者がいやがるのは、地域住民同士の連帯感と信頼関係なんだよ。地域の近所づきあいがよかったり、他人に対する関心や心配りが強い地域だと、犯罪者は、「ここでは、犯行は無理だ」と思って、犯行をためらうよね。

地域住民が団結することが、犯罪を遠ざけることにつながるってことを忘れないでね。

出会い系サイトの危険性をよく知っていれば、接続しようとは思わないよね。ニュースや新聞で伝えられている犯罪や事件は、いつ自分の身に降りかかるのかわからない。だから防犯団体や警察署から提供される情報をキャッチするように心がけてね。悪質商法や詐欺についての情報をよく知っていれば、騙されてトラブルに巻き込まれたり、被害にあうことを未然に防げるからね。

今日調べた防犯のことを家族や近所のおじさん、おばさんにも教えてあげるといいよ。

防犯対策と活動

留萌は安全・安心なまち?